

「今月の1枚」

ナガバモミジイチゴ（バラ科） *Rubus palmatus*



写真1 ナガバモミジイチゴの果実。クサイチゴやクマイチゴは赤い実になりますが、このイチゴはオレンジ色です。個人的な感想ですが、味はクサイチゴ＞ナガバモミジイチゴ＞クマイチゴの順においしいです。



写真2 葉の陰に隠れるように実がつきます。本州中部以北に分布するモミジイチゴ

(*Rubus palmatus* var. *coptophyllus*) は葉が短く本種の亜種となっています。



写真3 実の拡大写真。これでひとつの果実のように見えますが、ひとつひとつの粒の中に入っている固い種子のようなものが本当の果実（小核果）です。オレンジ色のつぶつぶの表面にある毛のようなものは雌しべのあと、集合果の根本にある毛糸のようなものは雄しべの枯れたものです。ちなみに、ショートケーキにのっているイチゴ（オランダイチゴ）の集合果は、キイチゴとはまったく違う構造をしており、花托という部分がやわらかく膨らんで食べられるようになったもので、表面についているつぶつぶが果実（核果）です。

写真・文：酒井敦 2016年5月20日高知県馬路村で撮影

(No.260 2016.6.7 掲載)